

16.11.11 お陰さまで70名が参加して終了しました

平成16年10月吉日



(財)年金総合研究センター

『大陸欧州の年金制度改革とわが国への示唆～ドイツ・フランスの改革～』

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

年金は拠出から受給まで長期にわたって全国民が関係していく制度であり、長期的な視野での制度設計が重要です。そのような制度設計を考える際に、過去の経験を振り返ると共に、同様な問題に直面している諸外国の年金改革における見方・視点を学ぶことも有意義であると考えます。

そのような観点から、わが国同様に人口構造変化に直面し、社会保険方式の年金制度の財政的持続性・安定性を高めるための改革のさなかにあるドイツとフランスについて、両国の年金制度の特徴と近年の改革の動向を明らかにするためフォーラムを開催することとしました。両国における最近の年金改革の背景とポイント、論点及び合意形成方法、直面する課題とそれに対する検討状況等について、それぞれの国で年金改革にたずさわっている方からの解説を聴くことにより、それぞれの国から日本が学べる点を浮かび上がらせ、長期的な制度体系のあり方を考えていきたいと思っております。

今回のフォーラムが年金に関わる方々の今後の検討のお役に立てば幸いに存じます。

できるだけ多くの方のご参加をお願いいたします。

記

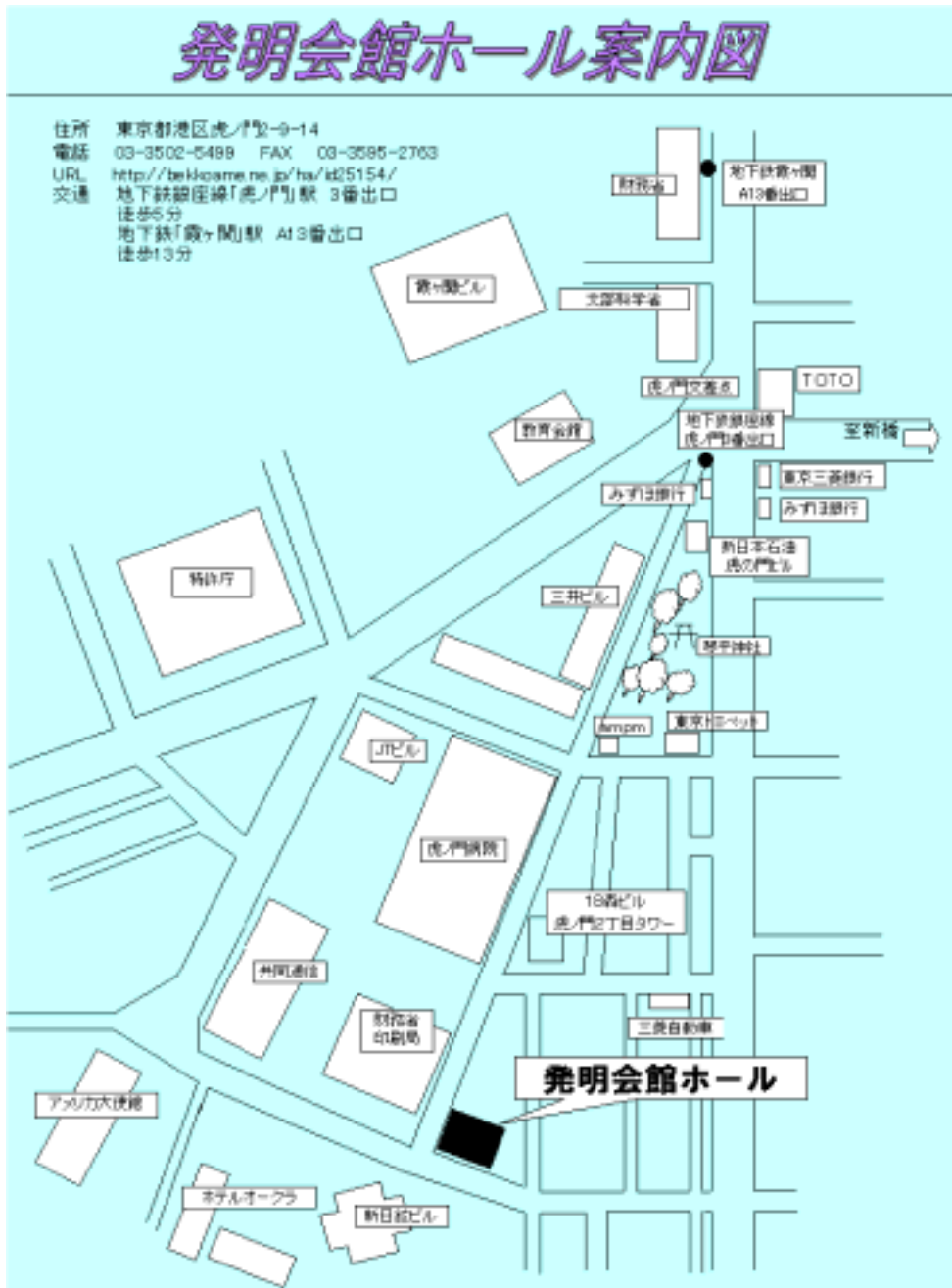
1. 日時 平成16年11月11日(木) 14:00～16:50 (13:15 開場)
2. 会場 発明会館 ホール
港区虎ノ門2-9-14 発明会館 B1
TEL 03-3502-5499
3. プログラム
14:00～14:10 開会挨拶
14:10～14:55 基調講演 「ドイツにおける年金制度改革の理念と合意形成」
ハンス ルードヴィヒ フレッケン ドイツ連邦保健社会省 部長
14:55～15:40 基調講演 「フランスにおける年金制度改革の理念と合意形成」
ドミニク ラシュ ミンヴィエル フランス健康・社会保護省 参事官
15:40～15:50 休憩
15:50～16:20 パネルディスカッション 「大陸欧州の年金制度とわが国への示唆」
ハンス ルードヴィヒ フレッケン ドイツ連邦保健社会省 部長
ドミニク ラシュ ミンヴィエル フランス健康・社会保護省 参事官
江口 隆裕 筑波大学大学院 ビジネス科学研究科 教授
16:20～16:50 質疑応答
16:50 閉会

4. 参加費 無 料

5. 参加要領 別紙参加申込書に記入の上、FAX(03-3509-1663)にてお申込下さい。

* フォーラム内容についてのお問合せは、研究部 中里・北野 (3509-1662 研究部直通)までお願い致します。

会場のご案内



- 地下鉄 銀座線 「虎ノ門駅」3番出口より徒歩5分
「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩13分
- 地下鉄 日比谷線 「神谷町駅」4番出口より徒歩5分

16年 月 日

11/11 フォーラム参加申込書

一般

団体名	
-----	--

FAX 03-3509-1663

	1	2
ふりがな		
参加者氏名		
所属・役職		
住所		
Tel		

申込要領

締切：11月5日(金)

- ・参加費用 **無料**
- ・定員 200名(定員になり次第締め切らせていただきます)
- ・参加者が3名以上の場合は、この用紙を北-して申込み下さい。

問合せ先 〒 105-0001 港区虎ノ門2-6-4 11森ビル4F
(財)年金総合研究センター 担当:豊田・宮田
TEL:03-3509-1661 FAX:03-3509-1663